

授業科目	成人看護学概論	単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	専任教員（成人看護領域臨床実務経験有）				
科目目標	1. 成人各期にある対象の身体・心理・社会的側面について理解する。 2. 成人を取り巻く生活環境が健康に及ぼす影響を理解する。 3. 成人期の健康問題と保健医療対策について理解する。 4. 健康レベルと看護活動の場に応じた、成人看護の役割・機能を理解する。 5. 成人期にある自己の健康に関心を持ち、健康管理能力を養う。				
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師
	1	2	成人看護学について おとなについて考えてみよう	講義・GW	専任教員
	2	2	おとなについての発表 成人期の対象の特徴と生活の理解	講義・GW	
	3	2	成人期の対象の特徴と生活の理解①	講義	
	4	2	成人期の対象の特徴と生活の理解②	講義	
	5	2	成人期の対象の特徴と生活の理解③	講義	
	6	2	成人各期の定義	講義	
	7	2	健康問題と健康障害の特徴と健康を守りはぐくむシステム	講義	
	8	2	生活者としての成人の理解①	講義	
	9	2	生活者としての成人の理解②	講義	
	10	2	成人看護の理念・目標① 成人看護の役割・機能	講義	
	11	2	成人看護の理念・目標② 成人看護の役割・機能	講義	
	12	2	健康レベルを踏まえた看護① 急性期・慢性期	講義	
	13	2	健康レベルを踏まえた看護② 急性期・慢性期	講義	
	14	2	健康レベルを踏まえた看護-終末期	講義	
	15	2	まとめ 終講試験	講義・試験	
評価方法	筆記試験 100 点				
評価基準	60 点以上で合格				
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔1〕成人看護学総論 医学書院				

授業科目	成人看護方法 I		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	看護師 (がん看護専門看護師) 看護師 (乳がん看護認定看護師) 看護師 (皮膚排泄ケア認定看護師) 看護師 (脳卒中リハビリテーション看護認定看護師)					
科目目標	1. 成人期の身体の一部を喪失した対象への生活の再構成にむけた看護の方法を学ぶ。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
状況的危機	1	2	危機の概念	講義	がん看護 専門看護師	
	2	2	医療の場における危機	講義		
	3	2	危機理論に関するモデル	講義・演習		
	4	2	防衛機制と対処規制	講義・演習		
乳房喪失 乳癌	5	2	乳がん患者の特徴と看護の役割	講義	乳がん看護 認定看護師	
	6	2	術後の看護と機能訓練	講義		
	7	2	社会復帰支援と自己検診	講義		
人工肛門造設 直腸癌	8	2	直腸がん患者の特徴と看護の役割	講義	皮膚排泄 ケア認定 看護師	
	9	2	術前看護と術後合併症の観察	講義		
	10	2	人工肛門の管理と排泄の援助	講義・演習		
脳梗塞 片麻痺	11	2	脳梗塞の患者の特徴と看護の役割	講義	脳卒中 リハビリテーション 看護 認定看護師	
	12	2	合併症の観察と廃用性変化の予防	講義		
	13	2	生活関連動作の再獲得と障害受容	講義		
	14	2	社会復帰のための連携と社会資源の活用	講義		
	15	2	終講試験	試験		
評価方法	筆記試験 100 点 (状況的危機 25 点、乳房喪失 25 点、人工肛門造設 25 点、片麻痺 25 点)					
評価基準	60 点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [1] 成人看護学総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [5] 消化器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [7] 脳・神経 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [9] 女性生殖器 医学書院 黒田裕子監修：看護診断のためのよくわかる中範囲理論 学研					

授業科目	成人看護方法Ⅱ		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	看護師 (糖尿病看護認定看護師) 看護師 (透析看護認定看護師) 看護師 (慢性疾患看護専門看護師) 看護師 (当該領域での臨床実務経験有)					
科目目標	1. 糖尿病で血糖コントロールが必要な患者の看護を学ぶ 2. 腎不全で透析を受ける患者の看護を学ぶ 3. AIDS患者の心理、社会的役割を含めた看護を学ぶ 4. 慢性心疾患患者の看護を学ぶ					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
糖尿病患者の看護	1	2	糖尿病の身体的特徴と合併症について	講義	糖尿病看護認定看護師	
	2	2	糖尿病治療の看護について	講義		
	3	2	運動療法について	講義		
	4	2	運動療法、グループワーク	講義		
	5	2	血糖測定 (実技演習)	演習		
	6	2	糖尿病看護 (事例)	講義		
腎不全患者の看護	7	2	末期腎不全の治療、社会保障	講義	透析看護認定看護師	
	8	2	血液透析、腹膜透析看護	講義		
	9	2	透析導入時の看護	講義		
AIDS患者の看護	10	2	HIV、AIDSについて (感染症について)	講義	慢性疾患看護専門看護師	
	11	2	HIV、AIDS 症状出現時期の看護	講義		
慢性心疾患患者の看護	12	2	慢性心不全患者の看護	講義	看護師	
	13	2	心電図モニター、12誘導演習	演習		
	14	2	自己管理への支援	講義		
	15	2	試験	試験		
評価方法	筆記試験 100点 (糖尿病 45点・腎不全 20点・AIDS15点、慢性心疾患 20点)					
評価基準	60点以上で合格					
テキスト	系統別看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔6〕 内分泌・代謝 医学書院 系統別看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔8〕 腎・泌尿器 医学書院 系統別看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔3〕 循環器 医学書院					

授業科目	成人看護方法Ⅲ		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	看護師 (診療看護師) 看護師 (集中ケア認定看護師) 看護師 (緩和ケア認定看護師)					
科目目標	1. 成年期の生命危機の状態にある対象の看護への方法を学ぶ 2. 急性期重症患者の身体機能の状態や心理状態、家族の状況について学ぶ 3. 救命、集中治療時の生命を維持するための看護の役割を学ぶ 4. 終末期の患者と家族の特徴を理解し、苦痛の緩和と安らかな死への看護を学ぶ					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
救命救急時の看護	1	2	救命医療とは	講義	診療看護師	
	2	2	救命医療と看護の特徴	講義	集中ケア 認定看護師	
	3	2	救命時の患者の状況	講義		
	4	2	救命時の看護①	講義		
	5	2	救命時の看護②	講義		
集中治療時の看護	6	2	集中治療室と看護の特徴	講義	集中ケア 認定看護師	
	7	2	集中治療を行ける患者の看護	講義		
	8	2	人工呼吸器装着患者の看護	講義		
肺がんの終末期の看護	9	2	終末期の特徴	講義	緩和ケア 認定看護師	
	10	2	肺がん患者の特徴	講義		
	11	2	薬物療法と看護	講義		
	12	2	放射線療法と看護	講義		
	13	2	苦痛の緩和・家族への支援	講義		
	14	2	死後の処置	演習		
	15	2	試験	試験		
評価方法	筆記試験 100点 (救命救急 30点・集中治療 25点・終末期 45点)					
評価基準	60点以上で合格					
テキスト	系統別看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院 系統別看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔2〕呼吸器 医学書院 系統別看護学講座 別巻 緩和ケア 医学書院					

授業科目	成人看護方法Ⅳ			単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	看護師 (手術看護認定看護師) 看護師 (消化器外科病棟実務) 看護師 (集中ケア認定看護師) 専任教員 (脳外科病棟臨床実務経験有)						
科目目標	1. 周手術期の患者の麻酔や手術による身体機能の状態を理解し、手術前・後 急性期から回復期の身体的変化に伴い生じやすい合併症の予防に必要な看護の方法を学ぶ。 2. 回復過程における生活活動の拡大にむけて、患者の心理や生活上のニーズを理解しセルフケアの充足を図る看護の方法を学ぶ。						
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
周手術期の看護	1	2	周手術期の看護・手術前の看護	講義	手術看護認定看護師		
	2	2	手術中の看護	講義			
	3	2	手術後の看護	講義			
	4	2	手術後の看護 術後ベッド	演習			
胃癌の看護	5	2	胃癌で胃切除術を受ける患者の特徴・術前の準備	講義	消化器外科病棟看護師		
	6	2	胃癌で胃切除術を受ける患者の術後の看護	講義			
	7	2	食生活変更の援助	講義			
心筋梗塞の看護	8	2	心筋梗塞で心臓手術を受ける患者の特徴	講義	集中ケア認定看護師		
	9	2	心臓カテーテル検査時の看護	講義			
	10	2	術後の看護	講義			
	11	2	日常生活動作拡大への援助	講義・演習			
脳腫瘍の看護	12	2	脳腫瘍で次回手術を受ける患者の特徴	講義	専任教員		
	13	2	検査時・術前看護	講義			
	14	2	術後の看護	講義・演習			
	15	2	試験	試験			
評価方法	筆記試験 100 点 (周手術期 25 点・胃癌 25 点・心筋梗塞 25 点・脳腫瘍 25 点)						
評価基準	60 点以上で合格						
テキスト	系統別看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院 系統別看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院						

授業科目	成人看護方法V	単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	専任教員 (成人看護領域臨床実務経験有)				
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病気の特徴・治療目的を理解できる 2. 健康レベルを判断し、看護の方向性を決定できる。 3. 病気・治療に対する患者の反応を捉え、看護の必要性を判断 (看護診断) できる 4. 患者の全身状態を観察し、生命の安全を守る看護を計画し、実施できる。 5. 患者の解決能力を判断し、自律・自立に向けた看護を計画し、実施できる。 6. 患者のセルフケア能力の向上に向けての看護について計画し、実施できる。 7. 患者・家族にとっての希望を支え QOL の向上に向けての看護について計画し、実施できる。 8. 成人期にある人の個別性を踏まえた効果的なアプローチの方法について理解できる。 9. 成人看護に有用な概念を活用し、看護の理解を深めることができる。 				
回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
1	2	看護診断を用いた看護過程の振り返り データベース、機能的健康パターンについて	講義	専任教員	
2	2	病気・治療の経過を踏まえた健康レベルの判断方法 患者・家族の医療・看護に期待するニーズ 共同問題について	講義		
3	2	アセスメントを用いた情報の統合 関連図の作成 患者にとって看護の必要な状況を仮の看護問題として捉える	講義		
4	2	看護診断について 患者の QOL を維持・増進させる看護計画について	講義		
5	2	看護診断の決定、健康レベルの判断について 問題リストの決定	グループワーク		
6	2	グループ発表① 「病気治療の理解、患者の基本情報から捉えた看護の方向性」 ・グループ討議した全体像、患者の QOL を踏まえた看護の方向性を発表。	グループ発表		
7	2	グループ発表②	グループ発表		
8	2	グループ発表③ 発表の講評	グループ発表		
9	2	個人で行った看護過程をもとに計画立案	グループワーク		
10	2	成人期にある患者の個別性のある計画について	グループワーク		
11	2	立案した計画をもとに看護実践	演習		
12	2	グループ発表① 計画に基づいた看護実践 評価・修正	グループ発表		
13	2	グループ発表② 計画に基づいた看護実践 評価・修正	グループ発表		
14	2	成人に有用な看護理論、まとめ	講義		
15	2	終講試験	試験		
評価方法	筆記試験 100 点				
評価基準	60 点以上で合格				
テキスト	系統看護学講座 成人看護学〔1〕成人看護学総論 医学書院				